

地域人材ネット

福島県双葉郡川内村の復興創生まちづくりへのアドバイス

高尾 忠志 (たかお ただし)

一般社団法人地域力創造デザインセンター 代表理事



○ 登録者情報
所在地

福岡県久留米市

略歴

東京大学景観研究室修了後、(株)アトリエ74建築都市計画研究所、九州大学景観研究室、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授を経て、2020年度より同センター特任准教授。2013年度より長崎市の公共事業全体のデザイン監修と職員育成を行うインハウス・スーパーバイザー(ISV:庁内監修者)「長崎市景観専門監」に就任。2020年4月に「一般社団法人地域力創造デザインセンター」を設立して代表理事に就任。学、官、民のそれぞれの立場から各地のまちづくりに関わる。長崎県美しい景観形成アドバイザー、大分県景観アドバイザー、佐賀県美しい景観づくりアドバイザー、日経コンストラクション(2018.1.22号)「俺たちが土木を変える! 編集部厳選、次代を切り開く10人のテクノロジスト」、由布市市政功労者表彰(地域振興功労)、西鉄柳川駅で都市景観大賞景観まちづくり活動・教育部門大賞(国土交通大臣賞)・グッドデザイン賞、長崎市・深堀地区の景観まちづくりで都市景観大賞景観まちづくり活動・教育部門大賞(会長賞)、由布院・湯の坪街道潤いのある町並みの再生で1)土木学会デザイン賞奨励賞等。

著書・論文等

- 1)「まちを再生する公共デザイン インフラ・景観・地域戦略をつなぐ思考と実践」, 山口敬太・福島秀哉・西村亮彦 編著(共著), 学芸出版社, 2019.6
- 2)「ようこそドボク学科へ!」, 佐々木葉監修(共著), 学芸出版社, 2015.4
- 3)「川の百科事典」, 高橋裕他編(共著), 丸善, 2009.1
- 4)「風景のとらえ方とつくり方 九州実践編」, 小林一郎編(共著), 共立出版, 2008.11
- 5)「景観用語事典 増補改訂版」, 篠原修編(共著), 彰国社, 2007.3

○ 福島県双葉郡川内村の復興創生まちづくりへのアドバイス

取組の内容

東日本大震災および福島第一原発事故からの復興を進める福島県双葉郡川内村において、復興創生まちづくりにおける景観・デザインのアドバイスを行なっています。川内村は、特に子育て世代の帰還が進んでおらず、近い将来に人口が激減することが予測されており、子育て世代をターゲットとした魅力ある村営住宅の整備を進めています(令和3年4月オープン予定)。あわせて、周辺地区全体の魅力向上に向けた景観形成をはかっていくために住民委員会により景観づくり構想(令和元年度)、景観ガイドライン(令和2年度)を策定しました。以上の取り組みに対して、景観・デザインのアドバイスを行ないました。今後も景観づくり構想、ガイドラインに基づいた施策のアドバイスを行っていく予定です。



子育て世代を主なターゲットとした村営住宅
(令和3年4月オープン予定)



地区住民懇談会
(真ん中がアドバイザー、右隣は副村長)

実績

- ・子育て世代を主なターゲットとした川内村村営住宅「町分住宅」の整備（令和3年4月のオープンにより10世帯の人口流入）
- ・川内村「町分地区景観づくり構想」策定（地区住民委員会、懇談会等の住民参加による）
- ・川内村「景観ガイドライン（まち並み編＋公共施設編）」策定（地区住民委員会、懇談会等の住民参加による）
- ・上記ガイドラインに基づいた公共サインデザイン（小中学園オープンにあわせた案内サイン設置）

工夫した点や苦労した点

10世帯から構成される村営住宅は、中心となるコモンスペースを囲むように宅地を配置し、住宅の内部空間と外部環境が呼応するデザインとし、田舎らしい自然を感じる子育て環境を実現している。景観づくり構想やガイドラインの策定にあたっては、地区住民委員会、懇談会、アンケート等、積極的な地区住民参加のプロセスをコーディネートし、官民協働によるまちづくりに向けた共通ビジョンを策定した。

ひとつとPR

まちづくりのソフト施策とハード施策が一体的に、官民協働により進められ、地域の特性、環境を生かしたまちづくりを進めていくため、役場職員や地区住民それぞれのアイデアが活かされるプロセスコーディネートや景観デザインのアドバイスを行ってきており、確実に地域力が向上してきています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

| | |
|------------------------|-------------------------|
| 1.地域資源を活用した地域経済循環 | 2.まちなか再生 |
| 地場産品発掘・販路開拓 | ○ 中心市街地活性化 |
| 6次産業化 | 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策 |
| 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援 | 商店街活性化 |
| 地域中核企業等の支援 | その他 |
| その他 | |
| 3.生活機能の維持 | 4.環境保全・SDGs |
| 地域医療・福祉 | 分散型エネルギーシステム |
| ○ 地域交通 | 地球温暖化対策 |
| 集落機能の確保 | 廃棄物・リサイクル対策 |
| その他 | その他 |
| 5.防災減災・危機管理 | 6.観光振興・交流 |
| 建築物耐震化・長寿命化 | DMOとの連携 |
| 地区防災計画 | インバウンド対応 |
| BCP | 民泊・農泊 |
| 避難所運営 | 地域おこし協力隊の推進 |
| 感染症対策 | その他 |
| その他 | |
| 7.関係人口の創出・拡大 | 8.移住・定住促進 |
| ○ 滞在・活動の場づくり | 起業・事業承継等支援 |
| 地域おこし協力隊の推進 | 空地・空家対策 |
| ○ 地域と関係人口の協働 | 地域おこし協力隊の推進 |
| その他 | その他 |
| 9.少子化対策、子ども・子育て支援 | 10.地域づくり人材の育成・教育 |
| ○ 結婚・出産・子育て支援 | ○ 人材研修 |
| 働き方改革 | ふるさと教育 |
| 子どもの貧困対策 | 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等) |
| その他 | その他 |
| 11.自治体経営イノベーション | 12.シティプロモーション・地域PR |
| 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備) | 地域ブランディング |
| ○ 官民連携(PPP・PFI) | メディア活用策 |
| 自治体間連携 | 効果の把握・評価 |
| ○ 住民参加 | その他 |
| その他 | |

関連ホームページ

| | |
|------------|---|
| 地域計画家・高尾忠志 | https://takaotadashi.localinfo.jp |
| | |
| | |

連絡先

| | | | |
|---------|--------------------------------|--|--|
| メールアドレス | takaotadashi〔アットマーク〕icloud.com | | |
|---------|--------------------------------|--|--|

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。